



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ  
コード番号 9791 URL <https://www.bikentechno.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神月 義行  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 06-6380-2141

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,698	10.1	478	50.5	516	52.3	314	55.6
2023年3月期第1四半期	9,671	5.5	967	54.6	1,082	71.8	708	63.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 266百万円 (59.3%) 2023年3月期第1四半期 653百万円 (57.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	41.74	
2023年3月期第1四半期	93.98	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	40,076	19,832	49.5	2,629.00
2023年3月期	39,240	19,672	50.1	2,607.72

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 19,832百万円 2023年3月期 19,672百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		10.00		14.00	24.00
2024年3月期(予想)		14.00		14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.2	2,350	19.4	2,600	4.5	1,700	1.8	225.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,718,722 株	2023年3月期	7,718,722 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	174,966 株	2023年3月期	174,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	7,543,756 株	2023年3月期1Q	7,543,756 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.311「当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く環境は、ウイズコロナの経済活動が定着しつつあり、業績の回復が見られてきています。しかし、人材採用難、人件費上昇、物価上昇による原価・経費負担増等により、今後の収益環境への影響も想定されます。

このような状況下、当社グループにおいては、コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業については、急速な回復を見せ、コロナ禍前の水準を上回る利益を計上しております。また、フランチャイズ事業についても、段階的ではありますが回復しつつあります。しかしながら、不動産事業においては不動産売却が成立したものの、前期の実績には及ばなかったことや、人件費の上昇の影響もあり、前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,698百万円（前年同期比10.1%減）、経常利益は516百万円（前年同期比52.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は314百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、ウイズコロナの経済活動が定着しつつあり、物流施設関連のメンテナンス業務の受注増はありますが、お客様の事業形態の変化による事務所移転・集約に伴う原状回復工事等の受注増、コロナ禍における特需、後ろ倒しになっていた業務の取込等がひと段落したことや、人件費の上昇も影響し、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,944百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は775百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第1四半期連結累計期間においても不動産売却が成立しましたが、前年同期の実績には及ばず、売上高、セグメント利益が減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は936百万円（前年同期比54.6%減）、セグメント利益は146百万円（前年同期比75.1%減）となりました。

#### ③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。各施設とも引き続き、感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていることから稼働率回復に時間を要しておりますが、段階的に回復しつつあり、前年同期と比較して売上高が増加し、セグメント損失が抑えられました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は225百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント損失は11百万円（前年同期は22百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、ツタヤ、銀座に志かわ等の店舗展開を行っております。コロナ禍の影響も限定的となり業績は段階的に回復しつつあり、前年同期と比較してセグメント売上が増加し、黒字化することができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は270百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は4百万円（前年同期は7百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で合計3棟のホテルを運営しております。コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業は、ウイズコロナが進む中で段階的に回復していましたが、前連結会計年度の終盤から急速に業績が回復し、コロナ禍前を上回る水準に達しつつあり、前年同期と比較して売上高が増加し、黒字化することができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は237百万円（前年同期比209.0%増）、セグメント利益は57百万円（前年同期は51百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑥ その他事業

その他事業では、フードコート運営事業、太陽光発電事業、当社の営業活動のネットワークを生かした関連商品の販売事業等を行っております。連結子会社で製造販売している除菌水の売上もコロナ禍の影響が落ち着き、前年同期の実績には及ばなかったことと、フードコート運営事業においても客足の増加がみられますが、黒字化には至らず、前年同期と比較して売上高が減少しセグメント損失が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は84百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント損失は8百万円（前年同期は0百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の「2023年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,823,257	8,595,033
受取手形、売掛金及び契約資産	3,983,380	3,463,225
商品及び製品	63,801	74,396
販売用不動産	5,205,021	4,621,215
未成工事支出金	18,052	40,836
原材料及び貯蔵品	39,093	38,500
その他	1,220,547	838,785
貸倒引当金	△74,146	△83,663
流動資産合計	18,279,009	17,588,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,122,040	5,641,996
土地	9,765,256	10,762,172
建設仮勘定	24,074	24,074
その他（純額）	550,459	592,387
有形固定資産合計	15,461,830	17,020,631
無形固定資産		
のれん	727,288	701,479
その他	185,883	186,625
無形固定資産合計	913,171	888,105
投資その他の資産		
その他	4,829,027	4,847,009
貸倒引当金	△243,000	△268,000
投資その他の資産合計	4,586,027	4,579,009
固定資産合計	20,961,029	22,487,746
資産合計	39,240,039	40,076,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,181,309	2,097,476
短期借入金	1,800,000	2,260,000
1年内返済予定の長期借入金	2,963,758	2,896,640
未払法人税等	505,748	197,388
賞与引当金	362,569	151,646
その他	3,069,044	3,313,264
流動負債合計	10,882,430	10,916,415
固定負債		
長期借入金	6,981,610	7,582,976
役員退職慰労引当金	235,610	236,673
退職給付に係る負債	443,074	448,218
資産除去債務	111,065	111,372
その他	914,229	947,887
固定負債合計	8,685,590	9,327,127
負債合計	19,568,021	20,243,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,672,968	1,672,968
利益剰余金	16,326,224	16,535,495
自己株式	△78,566	△78,566
株主資本合計	19,729,427	19,938,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,408	158,098
為替換算調整勘定	△190,119	△255,253
退職給付に係る調整累計額	△10,698	△9,010
その他の包括利益累計額合計	△57,409	△106,165
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,672,018	19,832,532
負債純資産合計	39,240,039	40,076,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,671,165	8,698,718
売上原価	7,381,153	6,844,118
売上総利益	2,290,011	1,854,600
販売費及び一般管理費	1,322,359	1,375,863
営業利益	967,652	478,736
営業外収益		
受取利息	9,555	7,563
受取配当金	13,868	14,911
受取賃貸料	8,206	7,992
助成金収入	27,270	17,965
受取補償金	488	—
為替差益	74,839	66,872
その他	27,244	21,778
営業外収益合計	161,473	137,083
営業外費用		
支払利息	17,520	15,884
支払手数料	10,503	37,991
貸倒引当金繰入額	17,035	35,598
その他	1,079	9,384
営業外費用合計	46,138	98,859
経常利益	1,082,987	516,960
特別利益		
固定資産売却益	1,441	2,231
特別利益合計	1,441	2,231
特別損失		
固定資産売却損	3,428	—
固定資産除却損	—	3,760
特別損失合計	3,428	3,760
税金等調整前四半期純利益	1,081,000	515,431
法人税、住民税及び事業税	285,142	159,486
法人税等調整額	86,910	41,032
法人税等合計	372,053	200,518
四半期純利益	708,947	314,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	708,947	314,912



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	708,947	314,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,029	14,690
為替換算調整勘定	△61,367	△65,133
退職給付に係る調整額	4	1,687
その他の包括利益合計	△55,332	△48,756
四半期包括利益	653,614	266,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	653,614	266,155
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。